

サロン紹介
～三田地区～

あさきた

安芸三田竹炭クラブ

毎週火曜日の午後、手作りの炭焼き小屋では、竹炭づくりの作業がおこなわれています。

10数年前、地区を流れる三篠川の川岸は、竹が生い茂り川が増水したときにはゴミが溜まって景観を損ねていました。そこで川岸の美化を目的に竹の間引きをおこない、間引いた竹で竹炭づくりを始めました。炭焼きの窯や小屋もサロンのメンバーで手作りしました。現在では、川岸の環境も改善され、竹炭は地域の朝市で販売されています。脱臭や防虫に効果があり好評です。



手作りの炭焼き窯



手作りの小屋・サロン

竹の切り出しから窯入れ、火入れ、取り出しまで協力しておこなわれます。作業の合間には、メンバー同士で地域のことやカーブのことなどの話で盛り上がり、心地のいい居場所になっています。



元気な質問にやさしく答えるメンバー

年に1回、三田小学校の3年生が竹炭づくりを見学に訪れます。見学に訪れた小学生からは、「竹炭はどうやって作るのですか?」「どうやって使うのですか?」など元気な質問が飛び交っていました。世代を超えた交流のきっかけにもなっています。

目次～主な内容～

- | | | | |
|----------------------------------|----|--------------------------|----|
| □ 三田地区サロン紹介 | P1 | □ ボランティアだより | P4 |
| □ 三入ボランティアバンク紹介、久地南地区社協取り組み紹介... | P2 | □ 復興連携センターすまいる活動報告 | P5 |
| □ 安佐北区社協事業報告・事業計画他 | P3 | □ かけはし生活支援員インタビュー等 | P6 |

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を一部充当して作成しました。

三入ボランティアバンク できる人が できる事を できる時に

「三入ボランティアバンク」は高齢化が急速に進む中、「助けを必要とする人がいるはず！」という思いから、三入地区社会福祉協議会の中に平成18年4月に立ち上げました。

住民アンケートを踏まえ、平成24年度からは実費相当の有償ボランティアを取り入れています。無償ではないため、気軽に相談してもらえるようになっています。

主な活動内容

- ① 子育て支援(公民館・児童館・小学校・地域行事での支援、物作り教室など)
- ② 高齢者のみ生活世帯の支援活動(植木剪定、家具の移動、町内での買い出しなど)
- ③ 公共場所の美化活動(公園や通学路の草刈や清掃など)
- ④ 地域組織活動の支援(行事の準備活動や写真撮影など)



ボランティアバンク事務局の様子

実費例

- ・機械(草刈り機)などの使用料
…200円(1機1時間)
- ・燃料代…150円(1機1時間)
- ・交通費…300円(1人1往復)
- ・材料費…実費

公民館、児童館、小学校からの依頼は、定着してきており、子どもたちに昔遊びを教えたり、行事と一緒に盛り上げたりしています。



物作り教室での作品例

現在、43人がボランティア登録をしています。平成27年度は、23件の作業依頼に対し、延べ121人のボランティアが活動しました。毎週月曜日の午前10時～午後3時の間、三入公民館内にあるボランティアバンク事務局にメンバーが交代で駐在し、相談を受け付けています。

取材時は、登録ボランティアさん7人が公園の美化活動をされました。年に数回おこなう公共場所の清掃は三入女性会や、いきいきサロンとも協力しています。



美化活動の様子

久地南地区
社会福祉協議会

エンディングノート

～大切なあなたへの伝言～

自分の人生を振り返り、大切な家族へメッセージを残すきっかけにしてみたい…

近年、話題になることも多いエンディングノートですが、実際に書くとなると複雑で書きにくいという声も聞かれます。久地南地区社会福祉協議会では“書きやすさ”を重視して独自にエンディングノートを作成しました。

一人暮らし高齢者には弁当に添えて手渡し、老人クラブからも各世帯に配布されました。実際に手にした方から話を聞いて、「私もほしい！」と言われる方もありました。



高齢者も家族も、誰もが安心して暮らせるようにという思いがこもっています。

エンディングノートの内容(抜粋)

私のこと

私はこんな人
(小さい時の思い出・学歴・職歴・
今までうれしかったこと)
おつきあい
(活動内容・団体名・連絡先)

医療への希望

延命治療について
(できる限り延命治療してほしい・
家族の判断に任せたい等)
自分への告知について
(告知してほしい・告知しないでほしい・理由)

家族・親戚・
友人への
メッセージ
自由記述

平成28年度 主要事業実施計画

「みんなでつくるささえあいのまち」をスローガンに地域福祉推進第6次5か年計画(平成25年度～29年度)に基づき、安佐北区の誰もが心安らかに暮らせるような成熟した社会に近づくことを目標にしています。

1 法人運営事業

会議の開催
自主財源の醸成

2 企画・広報事業

広報事業(「社協あさきた」の発行)
大会事業(社会福祉大会の開催)

3 地域福祉活動推進事業

地区社協育成事業
地区社協役員研修
地区社協への助成金交付



4 児童福祉事業

ちびっこ広場の運営
ひとり親家庭親子ふれあい行事支援

5 高齢者福祉事業

在宅介護者の会、認知症の人と家族の会への支援
ひとり暮らし高齢者等支援体制づくりの推進

6 障害者福祉事業

車いすの貸出
障害者サロンの支援

7 部会・委員会事業

広報委員会、表彰審査委員会、
生活福祉資金調査委員会等の開催

8 ボランティア活動育成事業

ボランティア講座、研修会等の開催
安佐北区復興連携センターすまいるの運営

9 福祉教育推進事業

青少年福祉活動体験事業の実施
やさしさ発見プログラム事業の推進



10 共同募金配分金事業

11 相談援助事業

自立支援総合相談援助事業(心配ごと相談、訪問
相談援助)
福祉サービス利用援助事業(かけはし)
広島市くらしサポートセンターへの協力

12 指定管理事業

広島市安佐北区地域福祉センターの管理運営
広島市可部福祉センターの管理運営

13 市社協受託事業

広島市障害者(児)社会参加支援ガイドヘルパー
派遣事業

14 貸付事務事業

生活一時資金・ひとり親家庭等緊急援護資金
生活福祉資金

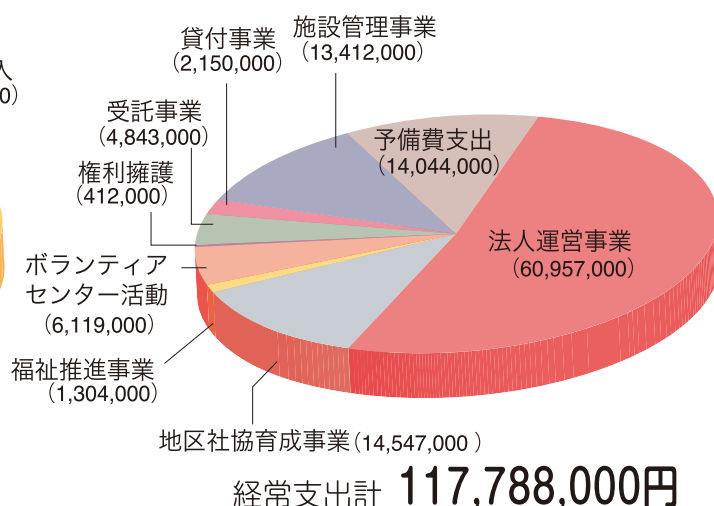
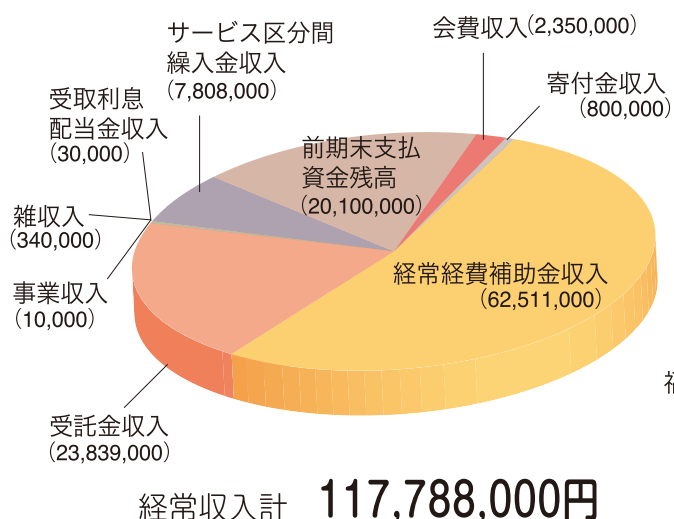
15 その他の事業

各種財団助成事業の
情報提供



平成28年度 収支会計予算

(単位：円)



来て♪見て♪ 感じて♪♪♪ 安佐北ヤングボランティア隊！ 2016 平成28年 8月2日(火)～8月4日(木)

●1日目 10:00～15:00

<会場> 安佐北区総合福祉センター 6階大会議室
○活動に向けて顔見知りになろう！(レクリエーション)
○視覚障害を知ろう！(お話)

●2日目 10:00～15:00

<会場> 安佐北区総合福祉センター 6階大会議室
可部公民館調理室
○活動体験
★「視覚障害者のつどい“こすもす”」のみなさんと一緒にクッキングをして交流しよう！

●3日目 10:00～15:00

<会場> 安佐北区総合福祉センター 6階大会議室
○まとめ ～活動を振り返って～
○「視覚障害者のつどい“こすもす”」のみなさんとおしゃべり会
○知的障害ってなあに？ ○知的障害者理解「あび隊」による疑似体験

青少年を対象に、福祉に関するボランティア活動へ関心をもっていただくことを目的として、体験学習を中心とした講座です。体験内容は、視覚障害者のみなさんと一緒に料理をして交流をします。また、最終日には知的障害についても学びます。

参加対象 高校生以上25歳までの方

参加費 300円(ボランティア活動保険料として)

締切 平成28年7月28日(木)

申込方法 電話、FAX、Eメールにて氏名・住所・電話番号・学校名・学年を下記の申込先まで、ご連絡ください。なお、FAX・Eメールで申込みの方は、必ず件名に「**ヤンボラ申込**」と明記してください。

申込・問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐北区社会福祉協議会
〒731-0221 広島市安佐北区可部三丁目19-22
安佐北区総合福祉センター 4階

TEL: 814-0811 FAX: 814-1895

Eメール: kita@shakyohiroshima-city.or.jp

担当: 谷・江^{たに えすみ}



サロン ちょっと、 ひとやすみ



毎日の介護やお世話、お疲れ様です。

日頃の悩み、一人で抱え込んでいませんか？

サロンに来られた方同士、ほっと一息つきませんか？

お一人でもどうぞ、傾聴(お話相手)ボランティア「安佐北ミミの会」のメンバーがお話をお聞きします。

場 所 安佐北区総合福祉センター 5階機能訓練室

時 間 毎月第2、4金曜日 13時から15時過ぎまで

お問い合わせは

広島市安佐北区可部3丁目19-22 安佐北区総合福祉センター4階

広島市安佐北区社会福祉協議会 082-814-0811

または、安佐北ミミの会 和 田 090-8062-5182まで

お知らせ

今年も
安佐北ボランティアフェスタを
開催します！！

第15回 安佐北ボランティアフェスタ

日 時 平成28年10月15日(土) 10:00～15:00

場 所 安佐北区総合福祉センター

詳しくは、次号で
ご案内します!!お楽しみに

すまいる
ペリカン

平成26年8月の災害で被災された方のお宅に、広報紙やすまいるカフェのチラシなどを持って訪問しています。避難先での暮らしのことや、被災した家へ戻ることへの不安などのお話をお聞きしています。必要に応じて関係機関につなぐなど、継続して支援しています。

すまいる
カフェ

「すまいるカフェ」は、被災者の方たちが月1回つどえる場として平成26年秋にスタートし、現在も地域が中心となって大林・新建で続けられています。また、広域避難者を対象に高陽でも開催しています。

すまいるカフェ in 大林の様子



6月は粘土で
「さやえんどう」を
作りました。



演歌に合わせて健康体操

すまいるカフェ in 新建の様子

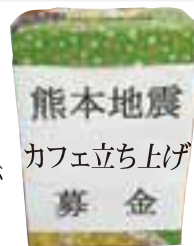


おいしい食事とおしゃべりを楽しまれています。
この日のメニューは、フレンチトースト・かぼちゃの
冷製スープ・コーヒーゼリーでした。



人気のマッサージコーナー♪
気持ちよさそうです。

熊本でも被災者が気軽に
集える場所が出来れば
という思いから、募金箱が
設置されました。



連携

安佐北区の「若者活動サポートセンター あおぞら」が被災した畑の石出し支援活動をされる際に、必要な資機材の貸し出しを行っています。



かけはし“生活支援員さん”ってどんな人??

「かけはし」(福祉サービス利用援助事業)では、認知症や知的障害・精神障害により判断能力が不十分なため、日常生活を営む上で不安のある方と契約を結び、相談や支援を行っています。

利用者さんの支援をおこなう生活支援員 助信 淳子さんに、日頃の活動についてお話を伺いました。

Q どのような支援をおこなっていますか？

A 困ったことはないかお聞きしたり、金融機関での払戻しや支払いのお手伝いをしています。

Q 気をつけていることはありますか？

A 支援する側という目線ではなく、同じ目線で力を合わせて問題を解決していくように心がけています。

Q かけはしへの思いを聞かせてください。 **A** これからもずっと活動を続けていきたいです。

助信支援員さんについて、利用者さんからは「何でも話せる遠慮のいらぬ関係。会えるのがとても楽しみ！」という声も。お互いに「最後までどうぞよろしく！」と笑顔で話される様子が素敵でした。

車いす貸出紹介

広島市社会福祉協議会と各区社会福祉協議会では、在宅で緊急一時的に車いすを必要とする方に、日常生活上の支障の軽減や社会参加等のための用具として、車いすを無料で貸し出しています。

原則として広島市に在住し、緊急かつ一時的に借用を希望する方。

詳しいことは、安佐北区社会福祉協議会へご相談ください。



ご利用者の声

先日は、突然の車いすの故障により、急きょ車いすの貸し出しをしていただきありがとうございました。

本当に困っていたところ、この貸出制度のおかげで無事修理までの間、助かりました。

車いすは、私たち脊髄障害者にとっては大切な「足」です。なくては担いでもらう以外に移動手段はありません。改めて、車いすの大切さを知り、今後もこの制度の継続を望んでおります。

(安佐北区在住の方)

平成28年 熊本地震義援金の報告

安佐北区社会福祉協議会／2,510,016円 (平成28年6月30日現在)

義援金は、社会福祉法人中央共同募金会から各市町村を通じて、被災者に配分されます。

皆様の温かいご支援をありがとうございました。なお、この義援金の募集期間は、平成29年3月31日までです。

広島市社会福祉協議会／8,488,798円 (平成28年6月30日現在)

★編集後記★
4月に安佐北区社協へ異動して来て以降、地域を訪問する機会が少しずつ増えてきました。地域のさまざまな取り組みや活動にふれ、新しい発見もたくさんあります。これからいろいろな出会いがあることを楽しみにしていますので、よろしく願います。
(藤岡)



愛の灯
安佐北区社協に、みなさまより多額のご寄付をいただきました。
みなさまの厚意に感謝申しあげ、ご報告いたします。
平成28年3月1日
～平成28年6月30日～
〈一般〉
焼肉じゅうじゅう様
A.K歌謡 代表
田島 憲治 様
〈香典返し〉
匿名 2件